

みのんだ だより

11月号

VOL.96

医療法人方佑会 植木病院

令和2年 11月2日発行

まわりの方に感染させないために インフルエンザ予防接種



のおはなし

薬剤部 黒田麻里=文

2019-2020年シーズンはインフルエンザの患者が少なかった！？



昨シーズン、インフルエンザの患者数は例年に比べ少なく、1月以降流行は収束しましたが、その一方で新型コロナウイルスによる影響が拡大しました。インフルエンザの患者数が少なかった要因として、新型コロナウイルスの感染拡大により、手洗い、うがい、マスクの着用など基本的な感染予防が徹底されたことが挙げられます。こうした感染予防対策により、インフルエンザだけではなく、風邪の症状を訴える方も少なかった印象です。

今年の冬はインフルエンザの予防接種をぜひ受けてください！！



新型コロナウイルスが収束しないまま、今年もまもなくインフルエンザが流行するシーズンがやってきます。インフルエンザも新型コロナウイルスによる感染症も症状はともに熱やせきなど、よく類似したものであり、どちらも高齢者や持病のある方が感染すると重症化する危険性があります。今年のシーズンは、インフルエンザと新型コロナウイルスに同時に感染する可能性も否定できません。新型コロナウイルスに有効なワクチンが開発されていない今、まずはインフルエンザに感染しないよう予防することが重要です（※）。インフルエンザの予防接種を必ず受け、引き続き手洗いなどの感染予防をしっかりと行うようにしましょう。

インフルエンザの予防接種を受けることで・・・



日本では、毎年12月から3月がインフルエンザの流行期にあたります。インフルエンザワクチンは接種後、効果が現れるまでに約2週間、その効果は約5ヶ月間継続するので、10月から11月はワクチンを接種するのにもっとも適した時期といえます。当院でも10月からインフルエンザワクチンの予防接種が始まりました。インフルエンザワクチンは発症を100%なくすることはできなくても、発症率を下げ、合併症を減らすことができます。

自分自身だけでなく、まわりの方に感染を拡大させないためにも、インフルエンザワクチンの予防接種を受けるようにしましょう。

※インフルエンザも新型コロナウイルスと同様に飛沫感染、接触感染で感染が広がることから、新型コロナウイルスの感染予防はインフルエンザへの対策にもつながります。



みのんだだよりはおかげさまで、2021年3月号で創刊100号！！

みのんだ
だより
100

創刊100号までの
あゆみ

2014年4月 創刊号発行！！

植木病院広報誌として「みのんだだより」の創刊号が発行されました。創刊号の表紙は、唯一！？と聞いていい植木病院スタッフの集合写真です。なつかしい顔もチラホラあります。



植木病院からのお知らせ

インフルエンザ予防接種のご案内

インフルエンザ予防接種のご予約はお早めに！！

- 料金
65歳以上の堺市民の方は無料
(公費による補助があります)
それ以外の方
初回 ￥3,850 (税込)
2回目 ￥2,750 (税込)

※2回目の料金は当院で初回接種された方のみ適用

予防接種は全て予約にて受け付けております。詳細につきましてはお電話で、もしくは直接医事課受付窓口までおたずねください。ワクチンの数量には限りがございます。ご希望の方はお早めにお申し出ください。

■インフルエンザ予防接種が 土曜日午後を受けられます■

予防接種の予約枠を土曜日午後に新たに追加しました。

11/21、28、12/5、12
(予備日:12/19)

受付 12:30~13:30
接種 13:00~14:00

ご希望の方はお電話で、もしくは直接医事課受付窓口までお申し出ください。